

社会課題解決の基盤づくりに取り組むケイスリー、1.9億円調達で行政向けプロダクトの開発強化へ

ケイスリー株式会社（本社：東京都渋谷区／代表取締役CEO：幸地 正樹／以下、ケイスリー）は、2020年3月26日に、モバイル・インターネットキャピタル株式会社が運営するMICイノベーション5号投資事業有限責任組合（以下「MIC」）を引受先とする第三者割当増資を実施し、総額1億9千万円の資金調達を行いました。当社として初めての資金調達となります。

社会課題解決の基盤づくりに取り組むケイスリー 1.9億円調達で行政向けプロダクトの開発強化へ



ケイスリーは2016年3月の創業より、地方自治体のSDGs推進支援、日本初のソーシャル・インパクト・ボンドの導入推進など、画期的な社会的課題解決手法の構築に取り組んできました。近年は行政機関にとどまらず、金融機関、事業会社、非営利組織などでも社会課題解決の取り組みが急速に拡大し、私たちの事業に対するニーズの高まりを日々実感しています。

今回の資金調達により、主に地方自治体の行政分野にイノベーションをもたらすプロダクト開発を加速させるべく、エンジニアなどの人員強化に力を入れてまいります。ケイスリーは、コンサルティング事業を通じた社会課題の発掘と、プロダクトの開発・実装を通じた解決策の提供、この両輪が相互に強化し合う新たな体制を構築していきます。

今回の資金調達の目的

今回調達した資金は主に厚生労働省の支援のもと沖縄県浦添市での実証事業を経て、神戸市と世界有数のアクセラレータである500 Startupsの連携プログラム「500 KOBE ACCELERATOR」で本格化させた行政向けプロダクト「BetterMe」の開発に活用いたします。特に自治体向けサービスを開発する上で求められる行政ビッグデータの解析、情報セキュリティ対策に強いエンジニアの採用を積極的に進める予定です。

投資家からのコメント

MICイノベーション5号投資事業有限責任組合（モバイル・インターネットキャピタル株式会社） 元木 新 様

ケイスリーは、「社会課題を最速で解決するための基盤づくり」を推進しており、経済性と公益性の両立を目指す様々な組織の課題を解決されています。今後、更なる飛躍ができるよう、幅広い経営支援をして参ります。

代表取締役 幸地正樹からのコメント

2016年にケイスリーを創業して以来、これまで様々な事業の支援を通じて、公益性と経済性が両立可能であることの実感を深めてきました。行政や企業、金融機関や非営利組織の思いと、適切なナレッジや革新的なテクノロジーが結びつ

くことで、これまで実現できなかったことが実現できる時代がすでに始まっています。ケイスリーにはいつしか官庁、金融、コンサル、IT、研究者など多様なバックグラウンドを持った仲間たちが集まり、社会課題解決の最先端を牽引可能な体制が整ってきました。

今回、MICに出資をお願いしたのは、我々の目指す世界観への深い理解と、「社会へGood Impactを与えるスタートアップへ投資する」という投資理念への本気度を綿密で的確なデューデリジェンスから感じ取ったからです。キャピタリストとしての専門性に基づくバリューアップの実績、幅広い企業ネットワークはもちろんのこと、それ以上に長期的に信頼可能なパートナーだと思えたことが決め手になりました。今後、MICからの支援も最大限活用しながら、ケイスリーは社会課題解決の新しい時代を切り拓いていきます。

【会社紹介】

会社名 ケイスリー株式会社

代表者 代表取締役 幸地 正樹

所在地 東京都渋谷区恵比寿西1-33-6 JP noie 恵比寿西 1F co-ba ebisu内

設立 2016年3月

URL <https://www.k-three.org>

採用情報 <https://www.k-three.org/recruit>

事業概要 先端技術を取り入れた社会的インパクト・マネジメントや成果連動型官民連携など成果向上に向けた手法の研究開発・導入支援及びEBPMの実装に向けたGovTechプラットフォームプロダクトの開発

【本件に関するお問い合わせ先】

会社名 ケイスリー株式会社

担当者 森山

連絡先 contact@k-three.org

ケイスリー株式会社のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/23382